

編集後記

病院に關する各方面の研究が漸く進んで来ましたので、本誌も段々と具体的な問題についての貴重な原稿を掲載させて頂くことが出来るようになり、直接皆様の御役に立てるようになって来たのではないかと思います。

米国の各種調査団の報告は非常に示唆に富んだものですから、熟読百考を要するものでせう。栗山先生の瑣談はいつもながら先生独特の風格のある玉稿で、病院を愛する御心情の発露と拜読させて頂けると思います。村松先生の問題は、従来日本の病院に欠けて居つた大きな欠点で、是非取上げなければならない問題で、御研究願わなければならぬのでせう。医療の中心機関である病院は、医学を従横に活用すべきでせう。守屋氏の収入記録の研究は、計画経理こそ病院の積極的運営の基礎事務であるという課題。厚生省では遅ればせながら模範病院建築の設計に取りかかっていますが、その委員である小林氏からうん着を傾けた御投稿をして頂いていることは幸いと思います。木谷氏、の實際面の経験も各方面の御参考になることと信じます。広く各種の問題を取上げて行きたいと編集室一同常に努力している積りで、更に一層の読者の御協力をお願い致します。

一月に橋本編集委員が帰国されました。一夕編集委員一同と会談し、帰朝談を伺いましたが、病院経営の問題もわれわれ日本人自身の自覚と努力によつて改善出来るという結論を得ました。来月号には帰朝談を掲載させて頂く予定ですから御期

待下さい。

各地方で病院協会問題が具体化しているようですが、兎角医師会との関係でフン切りが着かないそうで、心ある方々は苦心しておられるようです。新潟では医療団県管移管を機会に医療復興会議が発展解消して2月25日に新潟県病院協会の発会式が行われたようですが、一方日本病院協会の設立の運動も起り始めたようで、東京都病院管理協議会あたりがそろそろ動きかけているのではないかとこの観測通の雀話もあります。本誌編集部にも各協会、各病院長会議の消息を御伝え下されば、皆様の御参考に供したいと思います。日本のHospital movementの御役に唯一の病院雑誌である本誌を御活用下さい。

電力料問題は、全国共通の大問題でありましたが、国立関係のみで先づ関係方面と折衝を開始成功しなかつたものが、更に大阪病院長会議、続いて東京都病院管理協議会が動いて、遂に基本量150キロ迄引上げに成功しました。このことなども日本病院協会があつたならば本年第四半期分も有利に解決しえたのではなかつたと思われます。謝老婆心。

医療機関整備中央審議会が五ヶ年計画医療機関整備計画を決定しました。殆ど全部が病院増設増床計画です。これは各病院にとつて関心が深い問題です。更に公的医療機関の診療報酬審議会の第一回会合が2月28日に開催されました。この審議会こそ適正なサービスによる適正な入院料を決すべきでせう。三食付一泊200円は何処の本質宿？（編者）

滋賀大学事務局長 山元昌之 著

病院經理の理論と實際

近刊

病院の經理はいかに処理すべきか。現在では貴重本となつた往年の名著「病院會計理論と實際」を持つ著者が病院関係者の要請にこたえて新に書き下したものの。本書は多年病院經理の實際に従事した豊富な経験と最高の理論のエッセンスである。

東京都文京区駒込林町172 學術書院